

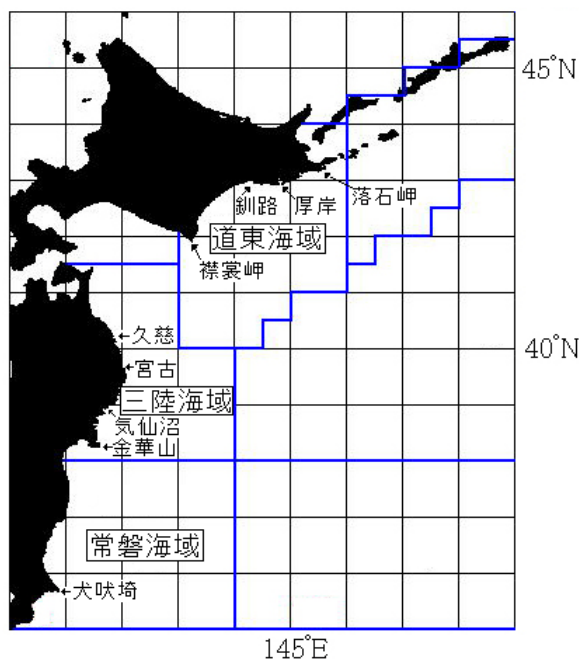
平成23年度 第7回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

今後の見通し(2011年11月中旬～12月下旬)のポイント

来遊量

- ・道東海域では、来遊量は減少し、11月中旬は低位水準となり、11月下旬には終漁となる。
- ・三陸海域では、来遊量は増加し、11月中旬は中位水準となる。
- ・常磐海域では、来遊量はゆるやかに増加し、11月中旬は低位水準、11月下旬は中位水準となる。
(但し震災の影響により操業が行われるか不明である)



海域の名称

問い合わせ先

社団法人漁業情報サービスセンター 事業二課

担当：渡邊、松尾

電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881

当資料のホームページ掲載先URL

<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>

独立行政法人水産総合研究センター

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

平成23年度 第7回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

1. 今後の見通し

予測期間：2011年11月中旬から12月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量

来遊量は減少し、11月中旬には低位水準となる。11月下旬には断続的となり、終漁となる。

(2) 漁場

11月中旬には、沿岸寄りの漁場は消滅するが、落石岬～厚岸沖と襟裳岬沖合に漁場が形成される。
11月下旬には、襟裳岬沖に漁場が残る。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

来遊量は増加し、11月中旬には中位水準となる。その後減少し、12月上旬には低位水準となり、終漁となる。

(2) 漁場

11月中旬には、北部～南部にかけて漁場が形成される。11月下旬～12月上旬には、三陸北部の漁場が消滅し、南部に漁場が残る。

3) 常磐海域

(1) 来遊量

来遊量はゆるやかに増加し、11月中旬は低位水準で推移するが、11月下旬～12月上旬には中位水準となる。12月中旬から減少し、低位水準となる。

(2) 漁場

現在、業界の自主規制により、東京電力福島第一原子力発電所から半径100km圏内を操業禁止としている。

2. 予測の概要

| 海 域 | | 11月中旬 | 11月下旬 | 12月上旬 | 12月中旬 | 12月下旬 |
|------|-----|-----------------|-------|-------|-------|-------|
| 道東海域 | 来遊量 | | | | | |
| | 動向 | 低位減少 | 断続的 | | | |
| | 漁 場 | 落石岬～厚岸沖 襟裳岬沖 | 襟裳岬沖 | | | |
| 三陸海域 | 来遊量 | | | | | |
| | 動向 | 中位増加 | 中位減少 | 低位減少 | | |
| | 漁 場 | 北部～南部 | 南部 | 南部 | | |
| 常磐海域 | 来遊量 | | | | | |
| | 動向 | 低位増加 | 中位増加 | 中位水準 | 低位減少 | 低位減少 |

3. 漁況の経過概要（10月下旬）

1) 道東海域

(1) 来遊量

資源量指数から判断した道東海域における来遊量の水準は、10月中旬より減少したものの、前年を上回る中位水準であった。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、来遊量は徐々に減少した。

(2) 漁場

落石岬南～襟裳岬南沖に漁場ができた。厚岸南南東20～30海里付近（表面水温：13～14℃）では、23日夜まで大型船数隻と小型船が10～30隻程度操業した。大型船は数～20トン、小型船は10～20トン漁獲された。

落石岬南60海里～厚岸南60海里付近（表面水温：12～14℃）では、小型船が多数操業した。28～29日夜は大型船も数隻操業した。大型船は数～100トン以上、平均36トン、小型船は10～20トン漁獲された。

釧路南南東90海里～落石岬南南東190海里付近（表面水温：11～15℃）では、連日大型船が数～30隻程度操業した。この漁場内の北側では小型船が多数操業した。大型船は数～100トン以上、平均72トン、小型船は平均20トン程度漁獲された。

襟裳岬南50～70海里付近（表面水温：12～13℃）では、30～31日夜に大型船が数隻操業した。30～80トン以上、平均52トン漁獲された。

(3) 魚体

30cmモードの大型魚主体であり、その体重は130～140gが主体であった。また26～27cmモードの中型魚や22～23cmモードの小型魚がやや多く混じる時もあった。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

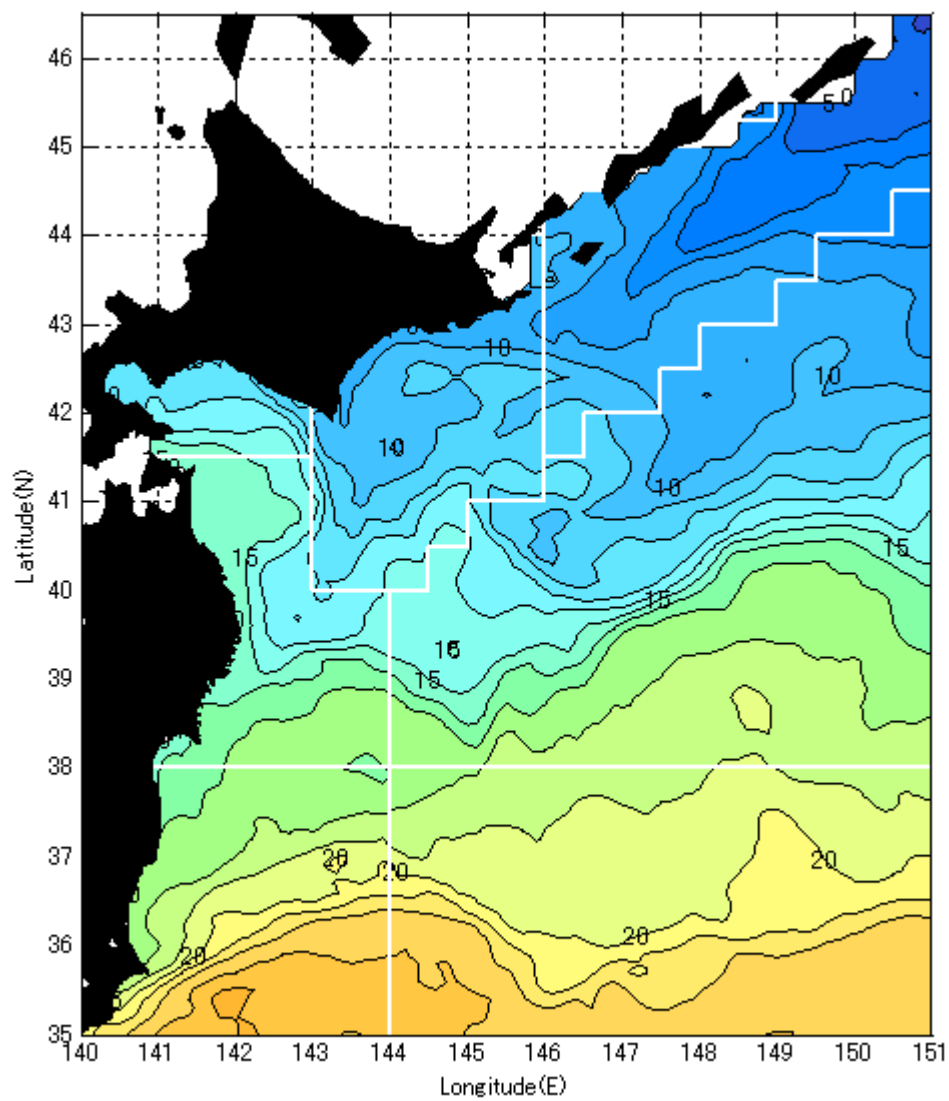
資源量指数から判断した三陸海域における来遊量の水準は、10月中旬同様、前年を下回る低位水準であった。

(2) 漁場

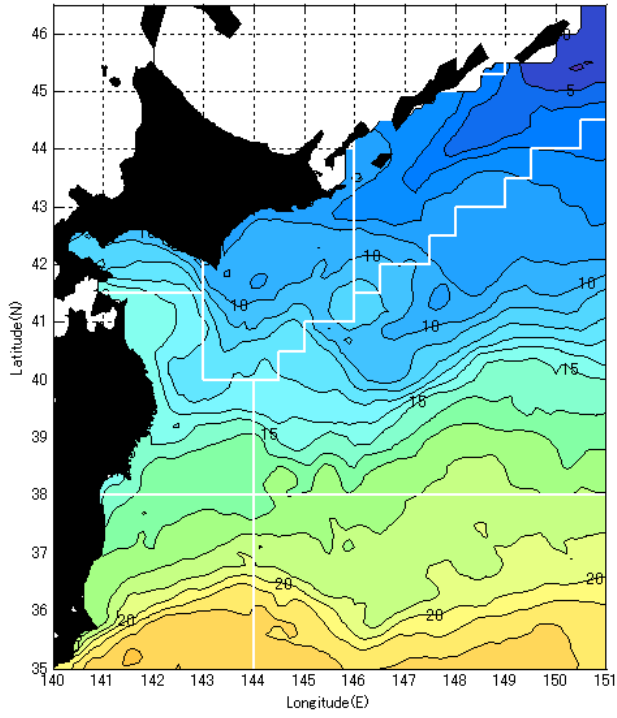
漁場は形成されなかった。

4. 予測水温分布図

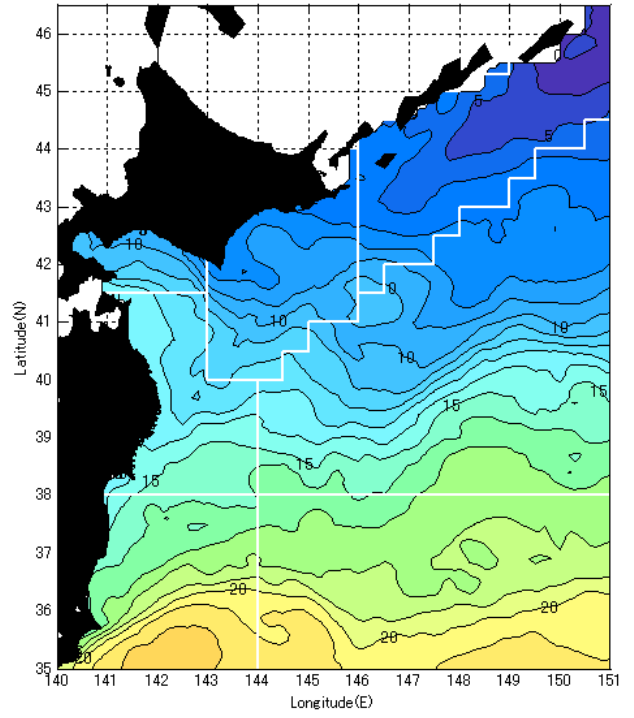
11月中旬予測表面水温分布図



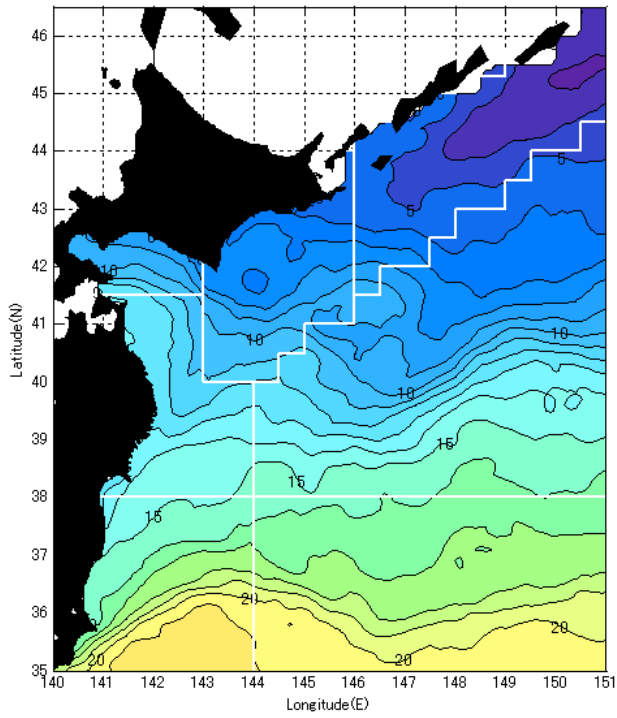
11月下旬予測表面水温分布図



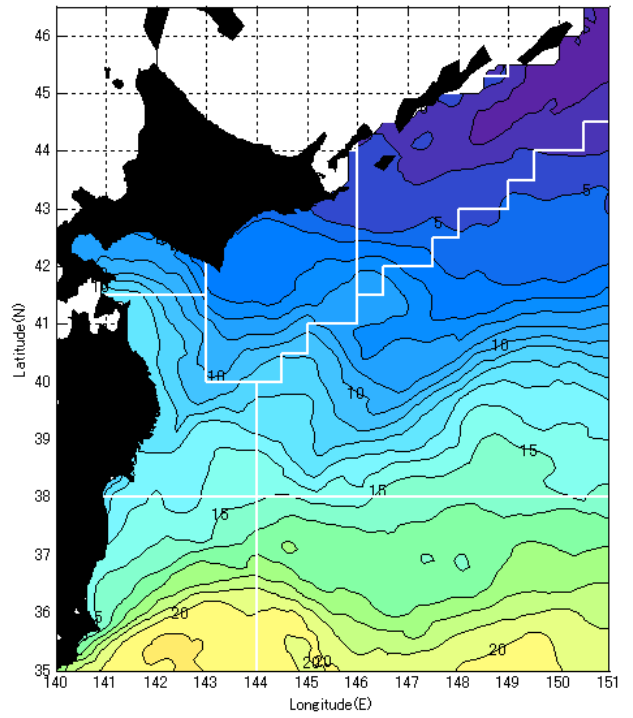
12月上旬予測表面水温分布図



12月中旬予測表面水温分布図



12月下旬予測表面水温分布図



参 画 機 関

| | |
|---|--|
| <p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p> | <p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>独立行政法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関)</p> <p>社団法人 漁業情報サービスセンター</p> |
|---|--|